

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2017年 8月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2017年8月1日発行 通巻292号

安全で楽しい登山は
計画書づくりから

8月号目次

・ 目次	2
・ 7月理事会報告	3
・ 合同会議の案内	5
・ 三間川クリーンハイク報告	6
・ ハイキング委員会リレーエッセー	7
・ リニア問題について	9
・ 新特別基金全国会議報告	10
・ ふれあいハイク案内	12
・ 県連たより	13
・ 8・9月予定表	14

八間山からの野反湖

ハイキング委員会・リレーエッセーで報告されている、市川山の会山行報告からのワンショットです。

湖面のブルーと緑に映えるキスゲの黄色、これぞ夏山の思い出です。毎日の猛暑な中、パソコンと格闘している身には、とても癒される風景です。

野反湖は、群馬・長野・新潟3県にまたがる、信濃川に注がれるダム湖です。途中には、有名な八ツ場ダム工事現場があります。2020年の完成予定との事です。一時の騒ぎはどうしたのでしょうか？何も変わらず進んでいる？のか

よく間違えるのですが、長野県信濃町の野尻湖があります。北信5岳と共に北長野の登山・スキー・観光スポットです。

——編集者——

千葉県連 理事会 報告

記録；桜庭 実（船橋勤労者山の会）

- 実施日 7月20日（木）19時～20時45分
- 場 所 船橋西部公民館 第4会議室
- 出席者： 君津ケルン・廣川、茂原道標山の会・山崎、東葛山の会・羽鳥、
民医連山を歩こう会・戸石、岳樺クラブ・荒井、岳人あびこ・室崎、かがりび山の
会・野田、ふわくHC・田中、市川山の会・松宮、松戸山の会・丸山、広川、
まつど山翠会・小林、シリウス☆山の会・浅川、千葉こまくさHC・竹口、
船橋勤労者山の会・桜庭、ちば山の会・寺崎、山内、
顧問・古瀬、ふれあいハイク担当・岡田正勝、 会長・広木、 副理事長・鶴田、
自然保護委員長・菅井、 教育遭難対策委員長・岡田賢一 以上23名。
- 配布資料 ・「次期総会にむけて」A43枚（会長）、
・17年度事故報告（教遭・岡田）一部不備のため、後日再送付あり。
・ふれあいハイク打ち合わせ報告（岡田正勝）
・「目で見える労山の歴史」CD、各会代表者と理事に各1枚。
- 委員会報告
 - *ハイキング委員会 房総ロングハイクについて検討中
 - *教遭委員会
 - ①17年度の事故報告。7月 千葉こまくさHCの女性が志賀高原、
山行中にマダニに刺され、帰宅後異変に気づき病院受診、残歯を手術・切開し
縫合、その後、抜糸、回復。
 - ②11月11日～12日予定で、今年も「事故防止経験交流集会」を開催したい。
場所：鴨川市「大山青少年研修所」昨年と同じ。大山不動尊 隣。
後日詳細を案内する。
 - *自然保護委員会
クリーンハイク、自然保護運動をどうするか？模索中。
各会で独自のクリーンハイクをお願いしたい。
（今期は、県連として統一クリーンハイクは実施しない）。
千葉県の自然について 様々に活動している諸団体とつながりを持ちながら
情報を集め、多くの会員と共有し、活動につなげたい。
全国自然保護集会 IN 尾瀬に委員会から2名参加予定。
 - *女性委員会
11月19日、船橋西部公民館にてワンコイン講習会を開催する。 講師 マ
ウンテンゴリラ、日本山岳ガイド協会の「安村 淳」氏。

*ふれあいハイク

障がい者との話し合い報告 ちばニュース8月号に掲載予定。

来年2018年 9月30日を予定。三浦半島 大楠山(240M)を候補地。

下見は今年10月1日(日)障がい者3名、介助を含め登山側6名で実施予定。

○次期総会にむけて 広木会長

9月9日(土)13時～ 船橋西部公民館2F会議室にて

各会代表者、理事の参加を得て合同会議を開催したい。会議終了後、懇親会も予定。
議題

1、県連役員の選出について

- ・2018年度千葉県連役員選出について
- ・選出のルールについての意見

2、県連理事について

- ・理事会の運営に対する希望・意見
- ・各会理事の選出について(複数理事の選出)

3、県連の委員会活動について。現行委員会の見直し

(資料については、合同会議前に会代表者・県連理事にメール添付で送付)
役員選出、三役(会長、理事長、事務局長)を理事会としてどう提案するか。
意見が出ず、理事や役員のフリートーク。

- ・現状として会と県連の間に溝がある。県連とは何か?
- ・県連の活動やメリットが理解されていない。
- ・退職した人しか県連に参画出来ないようだ。
(時間的制約や多忙な若い人を取りこめない)魅力不足もあるか。
- ・「安全登山」をテーマに県連活動の中心に添えていきたいが、まだまだできていない。
- ・事務局の活動は、仕事分担や実務の細分化を図り、こなしていけないか。
- ・県連として、会員に満足できる活動ができていない。
- ・県連に対する要望に耳を傾ける。そのためにも役員体制を整える必要がある。

合同会議開催について、理事会として異議なし。

- ・8月は、県連会議、委員会活動の計画はありません。
この機会に、会の仲間と夏山を楽しんでください。
そして、山行報告をちばニュースに投稿して下さい。
- ・9月からは、合同会議に続き、次期総会準備が始まります。
ご協力をお願いします。

全会代表者・県連理事合同会議について

千葉県連会長 広木 国昭

千葉県連盟会代表者・県連理事合同会議を実施します。

千葉県連盟は、2018年3月上旬に第52期・53期定時総会を実施します。総会の最重要議題は欠員役員の選出で、中でも理事長・事務局長の選出は不可欠です。県連役員の長期欠員は、各会活動、県連委員会活動など県連活動全般に大きな影響が出ています。

50周年を迎えた千葉県連が、組織の生き残りをかけて幾つかの重要問題を克服し、新しい仲間を迎える、迎えられる組織にリニューアルする事が求められています。

欠員役員の選出については、2016年6月から合同会議を5回実施したが、選出する事が出来なかった。

これを受けて、県連役員会・理事会は会代表者・県連理事の合同会議を実施する事を確認しました。

会代表者・県連理事の皆様には、再度の会議への出席になりまして大変申し訳ありません。

ご協力をお願いします。

なお、資料などについては近日中に届けるために準備しています。

◆ 会代表者・県連理事合同会議について。

- 1、実施日 2017年 9月9日(土) 13時より
- 2、場 所 船橋市西部公民館 2階会議室
- 3、参加者 ① 加盟全会 代表者(複数の出席を歓迎します)
② 各会選出 県連理事
- 4、議 題 ① 県連役員の選出について
・ 2018年度・2019年度県連役員選出について
・ 役員選出のルールについて(意見交換)
② 県連理事会について
・ 理事会の運営に関する希望・意見
・ 理事の選出について(複数理事の選出)
③ 県連委員会活動について
・ 現行委員会の見直し等

※ 議題 1 県連役員の選出について を最優先で討議をお願いします。
ご意見・問い合わせは、千葉県連広木までお願いします。

Eメール danphiro@zpost.plala.or.jp

以 上

三間川 クリーンハイク (ジャブジャブハイク)

中原 紀代治 (ふわくHC)

今年は、県連主催の統一クリーンハイクを実施しないとの事で、会の山行時にゴミ拾いを実施する事とした。

6月18日 「いっせんぼく」には殆どゴミは無かったが、それでも5K拾う。

三間川を下見して、ゴミがあるのを確認してクリーンハイクを計画にした。

7月4日 クリーンハイク本番、暑いけど水が冷たく最高に気持ちが良い。

参加者10名、

旧川(ふるかわ)から、沢に入る。水が少なく歩きやすい、直ぐにケイワタバコの大きな葉と薄紫の花が目についた。石ころの下には必ず沢蟹が動いている、少し深みには、オイカワ(ハヤ)も泳いでいる。小鳥の鳴き声が聞こえる、ヒヨドリ、ウグイス、シジュウカラ、中でも、「月、日、星、ホイホイホイ」と鳴くサンコウチョウだ、久しぶりに聞いた。岩壁には、イワタバコがぎっしり咲き、クサアジサイの薄ピンク、アカショウマの白い花も綺麗でした。

実物では、ナワシロイチゴが美味しい、競って食べた。他に食べられる木の実は、イチゴに似たヒメコウゾとヤナギイチゴが有りましたが余り美味しくなかった。

ドンドン滝が二か所あり慎重に登る、風呂釜みたいなホットホールが有り入りたい気分、約一時間で開墾場の滝にたどり着いた。滝つぼの奥に、上流から流れ着いた、ゴミが溜まっていて、昼食後に拾いました。

◆ 中原さんに聞きました。

・「いっせんぼく」とは？

木更津市真里谷(JR久留里線馬来田駅)にある、武田川の水源にある湧水の名称です。竹の根元から湧水で湿原が出来ている。川沿いの堤に沿って、春は菜の花・桜、秋はコスモスロードとして、県外からも見学者が来ている。

鬼泪山を守る運動で見学した染川の源流の湧水地と同様、房総半島の地質と豊かな水源を感じる事が出来る。

東京オリンピックの建築工事で、房総の山砂が注目され良からぬ利益を得ようとする動きが起こらないとは限らない。

・「ケイワタバコ」とは

房総のイワタバコは、葉裏、茎に毛が生えているとの事。

本州の一部地方に、

葉裏、花茎に毛のある種があるとの事です。(我が家のイワタバコに毛はない)



ノゾリキスゲと八間山

松宮 俊一（市川山の会）

7月16日（日）、友人たちと群馬県野反湖畔の八間山に登った。

ちょうどノゾリキスゲが見頃とのことで期待して出かけた。天気は曇り空ながらまずまずのハイキング日和。関越道を渋川伊香保インターで降り、国道を長野原方面へ進む。しばらく行くと八ッ場ダムの工事現場、温泉街や集落、JR吾妻線、国道などを高台へ移転しての大規模な工事が進んでいた。今、巨額のお金を投じてこんな大きなダムを造る必要があるのだろうか疑問に思う。

長野原駅前から野反湖方面へ入り、どんどん高度を上げる渓谷沿いの山道を走る。ここはかつて六つの村が合併してできた六合村、今は中ノ条町。途中には長英の隠し湯「花敷温泉」「尻焼温泉」などひなびた温泉がある。時間があればぜひ一浴したい温泉だ。

狭い山道を進むこと小1時間、急に開けて明るい野反湖畔に出た。富士見峠、標高約1,500m。大きな駐車場にはたくさんの車が止まっている。早速、登山の準備をしてレストハウスへ。ここからは、今日登る八間山や野反湖が一望だ。緑の斜面一面に黄色いノゾリキスゲが咲いている。ちょうど今が見頃、多くの観光客が散策している。

キスゲ見学は後回しにしてまず八間山に向かう。登山道の脇には、イブキトラノオ、ハクサンフウロ、カラマツソウ、シモツケソウ、オニアザミ、ミヤマニガナ、シロバナニガナ、ノハナショウブなどが咲いている。途中のガレ場はコマクサ群生地、北アルプスで見たのより色の濃いコマクサが咲いている。こんな標高の低いところでも咲くのだろうか。

イカ岩の肩、イカ岩の頭を過ぎ、下って上り返すと小広い八間山の頂上。標高で1,934m。小雨が降ってきた、合羽を着ながらお弁当を食べ、お茶を飲み、人生を語る。

下山を始めると、雨が止み、雲が晴れてきて展望がよくなってきた。浅間山、横手山、草津白根山、榛名山などの山々が見える。草津温泉の旅館街も手に取るようだ。野反湖も緑の山々に囲まれて美しい、残念ながら今日は富士山は雲の中。

雨で滑りやすくなった道を、足元に気を付けながら降りる。小一時間で登山口に着く、早速ノゾリキスゲを見に行く。湖面に続く緑の斜面一面に黄色いノゾリキスゲが咲き乱れている。青い湖面に黄色いキスゲが映えて尾瀬とはまた違った美しさだ。霧ヶ峰高原などニッコウキスゲの群生地がニホンジカの食害で大きな被害を受けている今日、野反湖は大丈夫だろうか心配になってくる。ここも電気柵で囲われる日が来るのだろうか。

スイスを思わせる美しい景色でいつまでも眺めていたかったが、後ろ髪をひかれる思いで車に乗る。カーブが続く山道を下り、露天風呂のある小野上温泉で汗を流して帰路に就く。途中の集落では祇園祭りが行われ、飾られた山車が出ていた。ここ群馬と京都のつながりを考える。

天気は今一つだったが、満開のノゾリキスゲとスイスを思わせる美しい景色が見られて大満足の山行になった。



ハイポーズ・バンザイー 大満足の山行、笑顔でわかります。
最近、見かけないが、ピースよりも好いねー

千葉県連の老舗会・市川山の会 久しぶりの登場です。
ハイキング委員の松宮さんが、「野反湖・八間山」の会山行を投稿してくれました。野反湖は花の名所にふさわしく種類・花数も多いです。ノゾリキスゲは、ニッコウキスゲと同じようですが、地方や山域によっては、***キスゲと呼んでいるそうです。

全国どこに自生していても、最初に発見された地（山）名、特定の山に多い等で、さも当然の様に地名が付いている植物は多いですね。どこにでもあるのに、ハクサン***、トガクシ*** ??? オゼソウ、オゼコウネなど、他の地域にあるのと微妙な違いがあるのは地域の固有種として良いのかも。

来月号あたりで、千葉県連の花博士・中原先生をお願いします。

「リニア問題検討委員会」報告

全国連理事 山本尚徳（かがりび山の会）

全国連盟理事会に「リニア新幹線問題検討委員会」が設置された。
今後、リニア新幹線工事は沿線6県（神奈川・長野・静岡・岐阜・愛知）にて実施されて行く事になり、全国理事会内の「リニア問題検討委員会」では対応出来なくなることから、次年度総会に提案し「リニア問題対策特別委員会（仮称）」を設置し対応を行う。

1、委員会設置の目的

- ① ユネスコエコパークに指定されている、南アルプスは日本だけにとどまらず世界に誇れる景観と貴重な動植物の宝庫です。この様な環境下に経済優先で目先の利便性に踊らされ僅か1時間の時間短縮の代償として希少な生態系・稀有な景観等の自然破壊・生活や環境の崩壊を伴う計画を許してはならない。
- ② 日本勤労者山岳連盟は、発足当時から、登山者の使命として自然保護問題に取り組んで来た。千葉県連でも、追原ダム建設阻止、鬼泪山を山砂採取から守る運動等に取り組む、房総の自然を守る大きな力になった。
- ③ 2006年には、30年の自然保護運動の実績をまとめて「自然保護憲章」を制定しました。憲章には「自然を破壊し、登山を阻害する自然の私物化や利権、開発に反対して行く姿勢を明確にする」とある。
その理念や観点に基づきリニア中央新幹線は絶対に走らせてはいけない。
- ④ リニア計画は国民的論議を経ないで、ずさんな環境アセスメントや安全対策上欠陥のあるまま進められ、単に南アルプスの自然破壊にとどまらない重大な問題を含んでおり、労山として静観や見過ごせない問題です。

2、委員会の活動（主なる活動）

- ・ 労山内で「リニア新幹線問題」について広報活動を行う。
- ・ リニア計画を含む南アルプスの現地調査を実施し労山内及び他の山岳団体で情報の共有化をはかる。（7月～9月に1回目の現地調査予定）
- ・ リニア問題について労山内外の有識者や訴訟原告団・日本山岳会(自然保護部会)等の団体・個人と問題を共有すると同時に情報交換等を実施する。
- ・ 労山内で「リニア新幹線工事で南アルプスを壊さないで」の署名活動を実施する。
一定期間内に賛同署名を以て、内外のマスコミ等に公表して行く。
（署名活動は、宣伝効果も含めて、有効な反対運動あり千葉県連としても積極的に取り組んで行きたい）

※ ちばニュースに連続掲載して行く予定です。

リニア新幹線は単に自然や景観等の破壊だけでない事を伝える。

- ①電磁波(人体への健康影響) ②原発再稼働問題 ③採算性 ④安全対策

以上

- ◆ ご意見・問い合わせは 山本 尚徳 (climbers_ny@ybb.ne.jp)
広木 国昭 (danphiro@zpost.plala.or.jp)

第5回新特別基金全国会議に出席して

東葛山の会新特別基金担当 山口洋子

東葛山の会に入って2年目に新特別基金の担当になりましたが、旧とは何だったのだろう？ 特別とはどういう意味なのだろう？ と疑問を持っていました。

今回、全国会議に出席して、先輩方会員によって旧基金制度が守られ、新基金制度として発展、継承してきたという歴史を知る事ができました。

- ① 遭難対策基金として作られた制度が、保険業法の改正によって保険という形で継承していくことができなくなったこと。
- ② 労山遭難基金を残すために運動を起こし、弁護士と相談しながら金融庁と話し合い、何とか現基金を維持する道を開いてきたこと。
- ③ この基金は、起きてしまった事故への交付金支払いと同時に、事故を起こさないようにするための安全対策基金として研修会や講習会等にも運用されていること。
- ④ 会員にとってより魅力的な基金にするために、今こうして所属連盟の意見や要望を聞くべく全国会議を開いているということ。

・どのような交付内容に充実していけば、労山ならではの特化した基金にすることができるか。

・会員のニーズに合った基金にするために、見直すところはないか。

・「新特別基金」という名称をもっと分かりやすい名称に変更すべきか。等々

地区代表、役員、職員41人の活発な意見交換を目の当たりにして「自分達の自分達による 自分達のための基金」という理念を強く感じました。

近いうちに本会議で課題になった事の結論が全国連盟から提案されると思いますが、東葛山の会では会議で学んだことを会員に伝えるために、8月の例会で説明会を開きたいと思います。

以 上

今回の会議の取り組みが遅れた事で、各会への案内が遅れた事をお詫びします。その中で、2会から基金担当者の参加がありました。二人とも全国レベルの会議等の参加は初めてとの事です。二人にお礼も言いたい事も有り、私も1日だけ参加しました。なつかしい人に会う事も全国レベルの会議や集会の楽しみでもあります。

会議については、参加者の報告を読んでください。

私からの報告や感想は、ちばニュースの投稿が少ない時に紹介します。

・事前アンケート集約結果 ・細則改定について ・安全対策基金について
等を中心に考えたいと思います。

千葉県連会長 広木 国昭

第5回新特別基金全国会議に参加して

齋藤 ちずゑ (松戸山の会)

2017年7月1日(土)～2日(日)新特別基金全国会議が文京区本郷で行われました。(泊まり込みの会議で少々疲れました)

北海道から鹿児島まで全国から役員も含めて41名が参加しました。

1日目は参加者の自己紹介があり、全国連盟の状況とこれから何が出来るか等について、各会からの報告についての討議がなされた。

各会から、無事故報奨金への疑問やスキー場での事故状況の説明と扱いについての疑問等が寄せられた。

又、ヒトココ・ココヘリについての説明があった。始めて聞くことでびっくりした。ビーコンのような機械らしいがこれから遭難救助に大いに役立つと言う事だが、雪崩事故ではビーコンの方が良いと言う事です。

2日目は基金の名称について、もっと分かりやすい名前に変更したほうが・・・という意見が多く出された。

他の保険と特別基金の違いについて、特別基金は保険ではないという事を確認した。賠償責任保険についても興味があった。

私たちは、山での事故は自己責任と言うことでおのおの確認しているが、もし重大事故が起きた時どうするか?について改めて確認しておいたほうが良いのではと思った。

ある会では、「会で賠償保険に入っていたためとても助かった」と報告があった。

特別基金は安全対策に予算を取っていることが他の保険と違う。安全な登山をいかにするかという事が重大な事です。会でも事故を起こさないように、常に研鑽を重ねる事が必要と強く思いました。

色々なおはなしが聞けてとても勉強になりました。

以上

今回の会議に向けて、事前アンケートが実施された。

アンケートは・2014年の交付内容改定についての意見・基金を魅力あるものにするための要望・基金の名称・制度のあり方等について聞いている。千葉県連から参加した「東葛山の会」「松戸山の会」からもアンケートの協力があつた。提出されたアンケートを集約して参加者の資料として配布された。アンケートの集約結果については、後日紹介します。

ふれあいハイク下見山行に協力のお願い

2018年に行われるふれあいハイクの下見に、参加、協力のお願いです。

7月の県連理事会で、障害者の参加者が6名います。車イスの補助に4名程度付きますと、他の視覚障害者と一緒に歩くサポートが確保できません。現在、下見当日の、歩行サポート者が不足しています。あと2名ほどの下見山行の協力者を募集いたします。

- ・日 程 2017年10月1日(日)
- ・集合場所 千葉駅NTT前
- ・集合時間 午前8時 出発 午前8時10分
- ・下見場所 三浦半島 大楠山(240m)コース等は9月の理事会で発表します。

交通費は参加者のバス・電車代。乗車のところから千葉駅までの交通費をでますので協力を宜しくお願いします。

- ・ふれあいハイク担当 千葉こまくさハイキングクラブ 岡田正勝

PCアドレス iwakagami412@ab.auonc-net.jp

携帯ショートメール 090-4202-2485

ふれあいハイクについて

ふれあいハイクは、千葉県連盟の伝統的なボランティア行事として、2年に1回実施して今回で17回目です。

前回は、2016年5月29日(日)、障害者13名、労山8会から72名が参加しました。JR千葉駅前と鎌ヶ谷市役所から、バス2台に分乗して、君津市の神野寺から九十九谷展望台公園に向い昼食を摂りながら交流と歌声を楽しみました。

今までに、筑波山・高尾山・宝登山等、県外の山にも取り組んできました。前々回からは障害者の体力の消耗や帰宅時間を考慮して、移動距離や時間を短縮するために県内で実施しています。今回は、東京湾を隔てて三浦半島に行きます。

実施日は、2018年9月30日(日)です。まだ先の計画ですが、安全に実施するために2年前から実行委員会を立ち上げて準備を進めています。

障害者と共に、安全で楽しい「ふれあいハイク」実施するために、当日の参加をお願いすると同時に準備作業への参加・協力をお願いします。

- ◆ 実行委員会についての問合せは、下記をお願いします。

ふれあいハイク担当 岡田 正勝 (千葉こまくさハイキングクラブ)

Eメール iwakagami412@ab.auonc-net.jp

携帯ショートメール 090-4202-2485

千葉県連会長

広木 国昭

Eメール danphiro@zpost.plala.or.jp

県連たより

千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

- ◎ 県連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX： 043-306-1190
Eメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR 総武線幕張本郷下車、海側 徒歩 5 分
(県連事務所に常駐者はいません)
- ◎ 加盟会会員の事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax：043-271-4704
全国連盟事務局にも必ず送付の事。
- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
発行責任者：広木 国昭 

NPO法人「ちば労山ゆう」

- 「ちば労山ゆう」は、定時総会で 2017 年度は、定期的な支援活動は実施しない事になりました。
会で実施する、支援活動は引き続き支援して行きます。
会の仲間と、東北の山・民宿の料理被災地の復興視察を合わせて計画してはどうでしょうか？
- ◎ 「ちば労ゆう」への問い合わせは
千葉県連盟ホームページから
「ちば労山ゆう」にお願いします
- ◎ 「食べて復興支援」
気仙沼・石巻の海産物の販売に取り組んでいます。
下記に連絡をお願いします。
広木 国昭
Eメールアドレス
danphiro@zpost.plala.or.jp

「第4回福島の子供たちと夏休み」支援カンパ報告

理事会でお願いをしました、支援カンパが 130,000 円になりました。
7月27日に、東京連盟・会長に手渡しました。今回は、学生のボランティアが多数参加するそうです。準備万端で当日の好天を願うばかりとのことでした。

【編集後記】

- ・ 7月1日（土）・2日（日）、全国連盟新特別委員会主催の「新特別基金全国会議」が開催され、東葛山の会と松戸山の会から2名が参加しました。参加報告を掲載しました。基金については、知らないと損をする事もあります。各会で、事故一報から交付まで学習をお願いします。
- ・ 9月9日に県連理事・会代表者合同会議が実施されます。各会代表者と県連理事には、会議資料を送付します。各会の県連に対する意見等を集約して参加して下さい。
- ・ 全国で死亡事故が2件になりました。千葉県連では絶対に重大事故を起こさない決意をお願いします。会として事故防止の取り組みを検討して下さい。より具体的な取り組みや申し合わせ事項などを全会員で共有して下さい。
- ・ 9月号に、夏山報告を投稿して下さい。会山行・個人山行報告に写真を1・2付けて送って下さい。待っています。

県連活動予定表

9月		行事予定	8月		行事予定
1	金		1	火	
2	土	関東ブロック役員交流会	2	水	8 月 は 県 連 活 動 は 全 て 休 み ま す ・ 会 の 仲 間 と 山 行 を 楽 し ん で 下 さ い
3	日	(栃木県連)	3	木	
4	月		4	金	
5	火	県連役員会 19時	5	土	
6	水		6	日	
7	木		7	月	
8	金		8	火	
9	土	県連合同会議13時	9	水	
10	日		10	木	
11	月		11	金	
12	火		12	土	
13	水		13	日	
14	木		14	月	
15	金		15	火	
16	土		16	水	
17	日		17	木	
18	月		18	金	
19	火		19	土	
20	水		20	日	
21	木	県連理事会	21	月	
22	金		22	火	
23	土		23	水	
24	日		24	木	
25	月		25	金	
26	火		26	土	
27	水		27	日	
28	木		28	月	
29	金		29	火	
30	土		30	水	
			31	木	

発行者 : 千葉県勤労者山岳連盟
 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
 レジデンス幕張台 101号室
 TEL・FAX 043-306-1190 (常駐者はいません)
 発行責任者 : 広木 国昭(danphiro@zpost.plala.or.jp)
 問い合わせは:千葉県連ホームページ・事務局への問合せまで